

## 感染症情報 10月21日～27日

府下小児科197医療機関(堺市19)から

|            |         |      |
|------------|---------|------|
| ①感染性胃腸炎    | 581例(堺市 | 31例) |
| ②RSウイルス感染症 | 385例(堺市 | 20例) |
| ③溶連菌感染症    | 281例(堺市 | 34例) |
| ④手足口病      | 125例(堺市 | 10例) |
| ⑤伝染性紅斑     | 118例(堺市 | 9例)  |

府下インフルエンザ定点301医療機関(堺市29)から

インフルエンザ 77例(堺市 12例)

感染症報告数は前週比3.9%減の1,744件であった。

報告数の第1位は感染性胃腸炎で、以下、RSウイルス感染症、感染性胃腸炎、溶連菌感染症、手足口病、伝染性紅斑の順であった。

感染性胃腸炎は府下で前週と比較して3%減、堺市では19%増であった。RSウイルス感染症が府下で17%減、堺市は前週と今回が同数であった。府下の定点あたりは2.37→1.95である。溶連菌感染症は府下で前週と比較して6%減、堺市は33例→34例でほぼ同数であった。手足口病は府下で15%減、堺市で4例→10例であった。伝染性紅斑は府下で40%増、堺市で12例→9例であった。

インフルエンザが府下で前週70例→今回77例は10%増で、定点あたり0.23→0.26である。堺市では前週2例→今回12例で定点あたり0.41であった。今後拡大していく可能性がある。

麻疹や風疹の報告はなかった。